

平成 25 年 3 月 28 日
大分工業高等専門学校

平成 24 年度フィリピン共和国における足踏みミシンボランティア 事業報告

1. 渡航者

(教職員)

氏 名	所 属・役 職
田中 孝典	都市・環境工学科 教授
岩本 光弘	技術部 技術専門職員
永田 玲央	技術部 技術専門職員

(学生)

氏 名	学 科・学 年
細木 詩織	制御情報工学科 5 年
後藤 香穂	制御情報工学科 5 年
三浦 智之	機械工学科 5 年
佐藤 拓馬	機械工学科 4 年
荒巻 恵	情報工学科 1 年
池邊 みはる	都市・環境工学科 1 年

2. 事業行程

日 時	業 務
3/21 (木)	移 動
3/22 (金)	事前準備等
3/23 (土)	・足踏みミシン贈呈および修理技術の指導等 (場所：St. John Bosco Church, Makati City)
3/24 (日)	・貧困地域の村 訪問 (場所：Laguna Prefecture)
3/25 (月)	移 動

3. 事業概要

・平成 24 年度は昨年度と同様にフィリピン共和国において事業を行った。今回は Makati City, の St. John Bosco Church において大分県フィリピン友好協会が支援する 4 箇所の地域自立支援センター (同センターは、台風、豪雨などの自然災害および貧困による孤児等への支援を目的) に贈呈する足踏みミシン 23 台のうち数台を用いてミシンボランティア学生 6 名が主体となり、同協会 17 名のスタッフに対してミシンの修理およびメンテナンスの技術指導等を実施した。また、同スタッフが独力で修理、メンテナンスが出来るように英語に翻訳した修理マニュアル (全 22 頁) 10 冊を寄贈した。

・足踏みミシン贈呈および修理技術の指導等の翌日は、大分県フィリピン友好協会が支援している Laguna 県内の農村にある地域自立支援センターを訪問した。同センターのある地域は貧困な農村である。村民の主な収入源は農業によるものであるが、雨季に入ると作物が育たないことから村民らには収入源が無い。この支援センターに贈呈する8台の足踏みをを用いて同村民らは交代で縫製品の作製と販売を行うことで季節や気候に影響されずに安定した収入を得ることが出来る。



事業を実施した St. John Bosco Church



贈呈した足踏みミシン



足踏みミシン修理技術の指導



足踏みミシン修理技術の指導



足踏みミシンの贈呈



Laguna 県内の地域自立支援センター



農村の子供達との交流会